

調査名 新型コロナウイルス感染症による日本看護科学学会 (JANS) 会員の研究活動への影響と  
学会に求める支援に関する調査, 2022 (第2回調査)

寄託者(寄託時) 公益社団法人 日本看護科学学会 理事長

本調査票を引用する際には出典を明記して下さい。最新の寄託者名は概要にてご確認下さい。

## 新型コロナウイルス感染症による 日本看護科学学会 (JANS) 会員の研究活動への影響と学会に求める支援に関する調査 (2回目)

-  回答
-  完了

### 調査協力をお願い

- この調査は、約2年間にわたるコロナ禍が日本看護科学学会 (JANS) の会員の現在 (直近3ヶ月) の研究活動に及ぼしている影響を再調査し、  
会員が必要とする研究活動等の支援策を検討するために実施するものです。
- 調査協力への諾否は皆様の自由意思によるものです。調査用ウェブサイトの同意ボタンをチェックして頂くことで、ご同意頂いたと判断いたします。  
なお、調査にご協力頂けます場合は、2022年3月31日までにご回答頂きますようお願い致します。  
また、調査にご協力頂けなかった場合でも、今後の皆様の学会活動に不利益になることはありません。
- 調査に同意し、回答を提出したのちに参加を撤回する場合は、研究終了日の2024年3月31日までに、研究事務局までご連絡ください。  
この場合、提供いただいたデータや情報等は破棄されます。ただし、同意撤回時点ですでに研究成果が論文等で公表されていた場合、破棄できないことがあります。
- 研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された情報 (どの研究対象者の情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る)」として使用いたします。
- 本研究は、宮崎大学医の倫理審査委員会の承認を得て実施するものです。
- 本調査へのご回答には30分ほどかかります。皆様の貴重なお時間をいただくこととなります。
- 本調査にご協力いただくことによる皆様への直接の利益はございませんが、この調査により明らかになりましたことを、日本看護科学学会学術集会およびホームページ等を使って皆様に還元し、  
できるだけ早く支援策を検討・提示して参ります。また本調査の結果は、日本看護科学学会等の学術集会や学会誌にて発表することがあります。
- 皆様の貴重な意見をお待ちしております。

### 日本看護科学学会 COVID-19看護研究等対策委員会

#### 【回答の一時保存・再開について】

アンケートフォームの末尾にある[回答を送信]ボタンを押すことで、回答を一時保存することができます。  
再度アンケートフォームにログインすると、前回の続きから回答を再開できます。

#### 【回答漏れがないかの確認について】

回答漏れがないか、確認をしながら進めて頂きますようお願いいたします。

下記のログイン者情報は自動で表示されるものです。会員番号等の個人を特定できる情報はJANS事務所で匿名化された後、分析を行う研究者に渡されます。

本研究への参加に同意する方は、以下にチェックを入れた上で、質問項目にお進みください。

同意されない方は、このまま調査用ウェブサイトをお閉じしてください。

問1 なお、第1回調査にご協力頂いていた場合、今回の調査データと会員番号を用いて連結した上で、縦断的な解析も行う予定です。  
会員番号を用いた連結はJANS事務局で行われるため、研究者に個人が特定される情報は渡されません。

\*

本研究への参加に同意します

あなたの現在の研究活動状況について伺います。

問2 Q1. コロナ禍前（2020年2月以前）と比較して、直近3ヵ月（2021年12月～2022年2月）の研究研究活動に対する意欲は、コロナ禍の影響によりどの程度変わりましたか。もっとも当てはまる選択肢をお選びください。

仕事や学業、家庭の状況が変わったなどの理由で、コロナ禍による影響を評価できない場合には、「評価できない」を選択してください。

- X. 評価できない
- 1. とても増えた
- 2. やや増えた
- 3. どちらとも言えない／あまり変わらない
- 4. やや減った
- 5. とても減った

Q2. コロナ禍前（2020年2月以前）と比較して、直近3ヵ月（2021年12月～2022年2月）の全体の研究活動に費やす時間は、コロナ禍の影響によりどの程度変わりましたか。もっとも当てはまる選択肢をお選びください。

仕事や学業、家庭の状況が変わったなどの理由で、コロナ禍による影響を評価できない場合には、「評価できない」を選択してください。

- X. 評価できない
- 1. とても増えた
- 2. やや増えた
- 3. どちらとも言えない／あまり変わらない
- 4. やや減った
- 5. とても減った

Q3. 以下は、研究者向けのソーシャル・ネットワーク・サービスであるResearchGateが実施した調査の質問項目になります。

コロナ禍前（2020年2月以前）と比較して、直近3ヵ月（2021年12月～2022年2月）での以下の活動に費やす時間はどの程度変わりましたか。

もっとも当てはまる選択肢をお選びください。なお、費やす時間の変化は、コロナ禍による影響で生じたものかどうかは問いません。

（参考 [ResearchGateの調査内容] : [https://www.researchgate.net/institution/ResearchGate/post/5e81f09ad785cf1ab1562183\\_Report\\_COVID-19\\_impact\\_on\\_global\\_scientific\\_community](https://www.researchgate.net/institution/ResearchGate/post/5e81f09ad785cf1ab1562183_Report_COVID-19_impact_on_global_scientific_community)）

1. 文献検索 (Literature search)

2. 論文執筆 (Writing papers)

3. 研究費申請書の執筆 (Writing grants)

選択

- 1. とても減った (Much less)
- 2. 減った (Less)
- 3. あまり変わらない (About the same)
- 4. 増えた (More)
- 5. とても増えた (Much more)
- 1. とても減った (Much less)
- 2. 減った (Less)
- 3. あまり変わらない (About the same)
- 4. 増えた (More)
- 5. とても増えた (Much more)
- 1. とても減った (Much less)

4. キャリア開発に関する活動（就職・転職・昇進に関する情報収集や書類作成など）（Career opportunities）

5. 実験や調査の実施（Experiments）

6. 教育（Teaching）

7. 研究室マネジメント（Lab management）

less)

2. 減った（Less）

3. あまり変わらない

（About the same）

4. 増えた（More）

5. とても増えた（Much more）

1. とても減った（Much less）

2. 減った（Less）

3. あまり変わらない

（About the same）

4. 増えた（More）

5. とても増えた（Much more）

1. とても減った（Much less）

2. 減った（Less）

3. あまり変わらない

（About the same）

4. 増えた（More）

5. とても増えた（Much more）

1. とても減った（Much less）

2. 減った（Less）

3. あまり変わらない

（About the same）

4. 増えた（More）

5. とても増えた（Much more）

1. とても減った（Much less）

2. 減った（Less）

3. あまり変わらない

（About the same）

4. 増えた（More）

5. とても増えた（Much

- more)
8. 他の研究者との連携・共同 (Collaborating with other scientists)
1. とても減った (Much less)
  2. 減った (Less)
  3. あまり変わらない (About the same)
  4. 増えた (More)
  5. とても増えた (Much more)
9. 研究関連物品 (器材・試料・事務物品・ソフトウェアなど) の購入に関する活動 (Purchasing lab equipment)
1. とても減った (Much less)
  2. 減った (Less)
  3. あまり変わらない (About the same)
  4. 増えた (More)
  5. とても増えた (Much more)
10. 研究関連の会議・会合 (学会や研究会など) への参加 (Attending conferences)
1. とても減った (Much less)
  2. 減った (Less)
  3. あまり変わらない (About the same)
  4. 増えた (More)
  5. とても増えた (Much more)

**Q4.** あなたの全体の研究活動は、コロナ禍の影響によってどの程度阻害されましたか。直近3ヶ月間 (2021年12月~2022年2月) の状況に基づいて、もっとも当てはまる選択肢をお選びください。

1. とても阻害された
2. やや阻害された
3. どちらとも言えない
4. あまり阻害されなかった
5. まったく阻害されなかった

>Q4-1. 「4. あまり阻害されなかった」 「5. まったく阻害されなかった」とお答えした人は、その理由や工夫・対策についてご記入ください。

**Q5.** コロナ禍以降 (2020年2月以降)、現在までにコロナ禍以外のイベント (就職、異動、進学、産体育休など) が、あなたの全体の研究活動にどの程度影響しましたか。もっとも当てはまる選択肢をお選びください。

1. とても影響した
2. やや影響した
3. どちらとも言えない
4. あまり影響しなかった
5. まったく影響しなかった

>Q5-1. 「1. とても影響した」 「2. やや影響した」とお答えした人にお尋ねします。どのようなコロナ禍以外の

イベント（就職、異動、進学、産休育休など）が影響したかご記入ください。

Q6. 以下は、コロナ禍において研究活動を阻害する要因として考えられる項目です。

これらのコロナ禍による要因は、あなたの研究活動をどの程度阻害しましたか。直近3ヶ月間（2021年12月～2022年2月）の状況に基づいて、もっとも当てはまる選択肢をお選び下さい。

項目に該当しない人（例：研究補助者がいない人、教育業務がない人、管理運営活動に関与していない人、など）は、「該当しない」とお答えください。

コロナ禍において研究活動を阻害する要因：

1. 研究対象者との対面接触の困難

選択

該当しない

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった

2. (研究活動を) あまり阻害しなかった

3. どちらとも言えない

4. (研究活動を) やや阻害した

5. (研究活動を) とても阻害した

2. 調査対象施設への出入りの困難

該当しない

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった

2. (研究活動を) あまり阻害しなかった

3. どちらとも言えない

4. (研究活動を) やや阻害した

5. (研究活動を) とても阻害した

3. 国内の移動手段の確保や出張の困難

該当しない

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった

2. (研究活動を) あまり阻害しなかった

3. どちらとも言えない

4. (研究活動を) やや阻害した

4. 海外への移動手段の確保や出張の困難	<p>5. (研究活動を) とても阻害した</p> <p>該当しない</p> <p>1. (研究活動を) まったく阻害しなかった</p> <p>2. (研究活動を) あまり阻害しなかった</p> <p>3. どちらとも言えない</p> <p>4. (研究活動を) やや阻害した</p> <p>5. (研究活動を) とても阻害した</p>
5. 研究に必要な器材・文献・資料・データ・パソコン・ソフトウェア等を利用の困難	<p>該当しない</p> <p>1. (研究活動を) まったく阻害しなかった</p> <p>2. (研究活動を) あまり阻害しなかった</p> <p>3. どちらとも言えない</p> <p>4. (研究活動を) やや阻害した</p> <p>5. (研究活動を) とても阻害した</p>
6. 研究補助者（リサーチアシスタントを含む）の活用の困難	<p>該当しない</p> <p>1. (研究活動を) まったく阻害しなかった</p> <p>2. (研究活動を) あまり阻害しなかった</p> <p>3. どちらとも言えない</p> <p>4. (研究活動を) やや阻害した</p> <p>5. (研究活動を) とても阻害した</p>
7. 在宅勤務による研究の効率の低下	<p>該当しない</p> <p>1. (研究活動を) まったく阻害しなかった</p>

8. 自身の所属組織内外の共同研究者（同僚・大学院生・他施設の研究者など）との打ち合わせの困難

2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
3. どちらとも言えない
4. (研究活動を) やや阻害した
5. (研究活動を) とても阻害した

- 該当しない
1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
  2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
  3. どちらとも言えない
  4. (研究活動を) やや阻害した
  5. (研究活動を) とても阻害した

9. 研究に関連する部署や組織、機関（事務、倫理審査委員会、調査協力先の団体、調査・研究の外注先など）の機能低下

- 該当しない
1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
  2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
  3. どちらとも言えない
  4. (研究活動を) やや阻害した
  5. (研究活動を) とても阻害した

10. 研究計画を変更したことによる、必要な予算の確保の困難

- 該当しない
1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
  2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
  3. どちらとも言えない
  4. (研究活動を) やや

11. 研究に関するピアサポートやコミュニケーションの困難

阻害した

5. (研究活動を) とても阻害した

該当しない

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった

2. (研究活動を) あまり阻害しなかった

3. どちらとも言えない

4. (研究活動を) やや阻害した

5. (研究活動を) とても阻害した

12. 共同研究者との共同研究の停滞

該当しない

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった

2. (研究活動を) あまり阻害しなかった

3. どちらとも言えない

4. (研究活動を) やや阻害した

5. (研究活動を) とても阻害した

13. 大学院生との共同研究の停滞

該当しない

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった

2. (研究活動を) あまり阻害しなかった

3. どちらとも言えない

4. (研究活動を) やや阻害した

5. (研究活動を) とても阻害した

14. 研究指導にかかる時間の増加

該当しない

1. (研究活動を) まっ



15. 投稿した論文（和文・英文）の査読・出版プロセスの遅延

- たく阻害しなかった
2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
3. どちらとも言えない
4. (研究活動を) やや阻害した
5. (研究活動を) とても阻害した

該当しない

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
3. どちらとも言えない
4. (研究活動を) やや阻害した
5. (研究活動を) とても阻害した

16. COVID-19 対応に専門職として貢献できない罪悪感・葛藤

- 該当しない
1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
3. どちらとも言えない
4. (研究活動を) やや阻害した
5. (研究活動を) とても阻害した

17. 講義にかける時間の増加（準備・評価を含む）

- 該当しない
1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
3. どちらとも言えない

4. (研究活動を) やや  
阻害した
5. (研究活動を) とて  
も阻害した
- 該当しない
1. (研究活動を) まっ  
たく阻害しなかった
2. (研究活動を) あま  
り阻害しなかった
3. どちらとも言えな  
い
4. (研究活動を) やや  
阻害した
5. (研究活動を) とて  
も阻害した
18. 演習にかける時間の増加 (準備・評価を含む)
- 該当しない
1. (研究活動を) まっ  
たく阻害しなかった
2. (研究活動を) あま  
り阻害しなかった
3. どちらとも言えな  
い
4. (研究活動を) やや  
阻害した
5. (研究活動を) とて  
も阻害した
19. 実習にかける時間の増加 (準備・評価を含む)
- 該当しない
1. (研究活動を) まっ  
たく阻害しなかった
2. (研究活動を) あま  
り阻害しなかった
3. どちらとも言えな  
い
4. (研究活動を) やや  
阻害した
5. (研究活動を) とて  
も阻害した
20. 実践 (臨床) にかける時間の増加
- 該当しない
1. (研究活動を) まっ  
たく阻害しなかった
2. (研究活動を) あま  
り阻害しなかった
3. どちらとも言えな  
い
4. (研究活動を) やや  
阻害した
5. (研究活動を) とて  
も阻害した
21. 学生・職員の健康管理にかける時間の増加 (体調チェックなど)
- 該当しない

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
3. どちらとも言えない
4. (研究活動を) やや阻害した
5. (研究活動を) とても阻害した

22. 感染症への恐怖を呈する学生・職員の支援にかかる時間の増加

- 該当しない
1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
  2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
  3. どちらとも言えない
  4. (研究活動を) やや阻害した
  5. (研究活動を) とても阻害した

23. その他の学生・職員の相談にかかる時間の増加 (就職相談、メンタルヘルス相談、経済支援相談など)

- 該当しない
1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
  2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
  3. どちらとも言えない
  4. (研究活動を) やや阻害した
  5. (研究活動を) とても阻害した

24. 管理運営活動にかかる時間の増加 (会議・委員会活動、オープンキャンパス、就職説明会など)

- 該当しない
1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
  2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
  3. どちらとも言えない

	い
	4. (研究活動を) やや 阻害した
	5. (研究活動を) とて も阻害した
25. 情報通信技術 (ICT) の習熟にかける時間の増加	該当しない
	1. (研究活動を) まっ たく阻害しなかった
	2. (研究活動を) あま り阻害しなかった
	3. どちらとも言えな い
	4. (研究活動を) やや 阻害した
	5. (研究活動を) とて も阻害した
26. 上司・同僚・部下や組織に対するICT関連の支援にかける時間の増加 (WEBミ ーティングシステムのインストールや使用方法の支援など)	該当しない
	1. (研究活動を) まっ たく阻害しなかった
	2. (研究活動を) あま り阻害しなかった
	3. どちらとも言えな い
	4. (研究活動を) やや 阻害した
	5. (研究活動を) とて も阻害した
27. COVID-19 に関する社会貢献活動 (学会の委員会活動、市民講座など) にか ける時間の増加	該当しない
	1. (研究活動を) まっ たく阻害しなかった
	2. (研究活動を) あま り阻害しなかった
	3. どちらとも言えな い
	4. (研究活動を) やや 阻害した
	5. (研究活動を) とて も阻害した

28. COVID-19 の影響で家事にかかる時間の増加

該当しない

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
3. どちらとも言えない
4. (研究活動を) やや阻害した
5. (研究活動を) とても阻害した

29. 家庭内でのCOVID-19 の感染予防・健康管理にかかる時間の増加

該当しない

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
3. どちらとも言えない
4. (研究活動を) やや阻害した
5. (研究活動を) とても阻害した

30. COVID-19 の影響により生じた家庭内の葛藤・ぶつかり合い

該当しない

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
3. どちらとも言えない
4. (研究活動を) やや阻害した
5. (研究活動を) とても阻害した

31. COVID-19 に伴う子どもの休園・休校・登校制限による育児時間の増加

該当しない

1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
2. (研究活動を) あま

- り阻害しなかった
- 3. どちらとも言えない
- 4. (研究活動を) やや阻害した
- 5. (研究活動を) とても阻害した

32. COVID-19 の影響による、介護にかかる時間の増加（デイサービスやショートステイの利用中止によるものなど）

- 該当しない
- 1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
- 2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
- 3. どちらとも言えない
- 4. (研究活動を) やや阻害した
- 5. (研究活動を) とても阻害した

33. COVID-19 に対応するための家事・育児・介護が十分に行うことができない罪悪感・葛藤（家庭での感染予防など）

- 該当しない
- 1. (研究活動を) まったく阻害しなかった
- 2. (研究活動を) あまり阻害しなかった
- 3. どちらとも言えない
- 4. (研究活動を) やや阻害した
- 5. (研究活動を) とても阻害した

Q7. 上記以外に、直近3ヶ月間（2021年12月～2022年2月）であなたの研究活動が阻害された要因（コロナ禍の影響によるもの）がありましたらご記入ください。

Q8. 現在、コロナ禍においてあなた自身の研究活動について不安がありますか。もっとも当てはまる選択肢をお選びください。

1. とても不安である
2. やや不安である
3. 不安はない

>Q8-1. 「1. とても不安である」「2. やや不安である」とお答えした人にお尋ねします。具体的にどのような不安がありますか。（複数選択可）

1. 自身の雇用の継続
2. 教育・研究職への就職

3. 研究の内容・質
  4. 研究の中断と再開時期
  5. 代替となる研究の準備・実施
  6. 研究データ収集の困難さ
  7. 教育・研究・臨床活動のバランス
  8. 共同研究者とのコミュニケーション
  9. 研究留学の中止・中断
  10. 自身の学位取得の遅れ
  11. 次年度の研究費申請への影響
  12. COVID-19対応以外の活動に時間を使うことに批判を受ける可能性
  13. コロナ禍における労務管理の不十分さによる精神的・身体的疲弊
  14. 世帯収入の減少による生活基盤の脆弱化
  15. キャリアアップのための転職や異動
  16. その他
- >Q8-2. 「16. その他」を選択の場合は、具体的にご記入下さい

Q9. あなたのコロナ禍における研究活動に関して、気軽に相談できる人はいますか。もっとも当てはまる選択肢をすべてお選びください。（複数選択可）

1. 現在の職場の上司
  2. 現在の職場の同僚
  3. 現在の大学院指導教員
  4. 以前の職場の上司
  5. 以前の職場の同僚
  6. 卒業した大学院の指導教員
  7. 大学院の同級生
  8. 他領域の研究者
  9. その他
  10. 相談できる人はいない
- >Q9-1. 「9. その他」を選択の場合は、具体的にご記入下さい

Q10. 以下は、コロナ禍における研究活動上の肯定的な変化として考えられる項目です。

あなたは、直近3ヶ月間（2021年12月～2022年2月）において、これらの変化をどのくらい感じましたか。もっとも当てはまる選択肢をお選びください。

- |                            | 選択   |
|----------------------------|--|
| 1. 通勤時間の短縮による研究時間の創出       | 1. まったく感じ<br>なかった<br>2. あまり感じな<br>かった<br>3. どちらとも言<br>えない<br>4. やや感じた<br>5. とても感じた |
| 2. 通勤時間の調整（時差出勤）による研究時間の創出 | 1. まったく感じ<br>なかった<br>2. あまり感じな<br>かった<br>3. どちらとも言<br>えない                          |

3. 対面会議の減少による研究時間の創出

4. やや感じた
5. とても感じた
1. まったく感じ  
なかった
2. あまり感じな  
かった
3. どちらとも言  
えない

4. 会議・出張の中止・延期による研究時間の創出

4. やや感じた
5. とても感じた
1. まったく感じ  
なかった
2. あまり感じな  
かった
3. どちらとも言  
えない

5. 新たな生活リズムの構築

4. やや感じた
5. とても感じた
1. まったく感じ  
なかった
2. あまり感じな  
かった
3. どちらとも言  
えない

6. 新たな研究アイデアの着想

4. やや感じた
5. とても感じた
1. まったく感じ  
なかった
2. あまり感じな  
かった
3. どちらとも言  
えない

7. 新たな研究へのチャレンジ

4. やや感じた
5. とても感じた
1. まったく感じ  
なかった
2. あまり感じな  
かった



3. どちらとも言えない
  4. やや感じた
  5. とても感じた
8. 新たな分野の研究者や知見に触れる機会の増加
1. まったく感じなかった
  2. あまり感じなかった
  3. どちらとも言えない
  4. やや感じた
  5. とても感じた
9. 新たな分野の研究者との共同研究の着想
1. まったく感じなかった
  2. あまり感じなかった
  3. どちらとも言えない
  4. やや感じた
  5. とても感じた
10. 在宅での研究活動の環境改善
1. まったく感じなかった
  2. あまり感じなかった
  3. どちらとも言えない
  4. やや感じた
  5. とても感じた
11. 遠隔による教育活動の効率化による研究時間の創出
1. まったく感じなかった
  2. あまり感じなかった
  3. どちらとも言えない
  4. やや感じた
  5. とても感じた
12. ICTを活用して国内の研究者間でのコミュニケーションが取りやすくなった
1. まったく感じ

13. ICTを活用して海外の研究者とのコミュニケーションが取りやすくなった

- なかった
- 2. あまり感じなかった
- 3. どちらとも言えない
- 4. やや感じた
- 5. とても感じた

14. 遠隔による研究活動の機会の増加

- 1. まったく感じなかった
- 2. あまり感じなかった
- 3. どちらとも言えない
- 4. やや感じた
- 5. とても感じた

15. 遠隔による実践（臨床）活動の機会の増加

- 1. まったく感じなかった
- 2. あまり感じなかった
- 3. どちらとも言えない
- 4. やや感じた
- 5. とても感じた

16. 遠隔による学会・講習会のメリットを体験

- 1. まったく感じなかった
- 2. あまり感じなかった
- 3. どちらとも言えない
- 4. やや感じた
- 5. とても感じた

17. 遠隔でのピアサポート・コミュニケーションの機会の増加（オンラインでの同僚や大学院生同士の雑談や飲み会など）
5. とても感じた
1. まったく感じなかった
2. あまり感じなかった
3. どちらとも言えない
4. やや感じた
5. とても感じた

Q11. 上記以外に、あなたが感じた研究活動上の肯定的な変化がありましたらご記入ください。

Q12. コロナ禍で、研究活動を円滑に進めるために工夫したことがありましたらご記入ください。  
研究テーマの設定、方法論の選択、研究チームの構成などについての工夫を想定していますが、これらに関わらずご自由にお書きください。

Q13. コロナ禍で、研究者と実践家の協働として新たに行った活動がありましたらご記入ください。  
コロナ禍での感染拡大防止や、感染リスクが高い人や感染対策（ソーシャルディスタンスや外出自粛等）に伴い好ましくない影響が出やすい人への支援、有益なエビデンスの提供などを想定していますが、これらに関わらずご自由にお書きください。

問3 あなたの過去2年間の研究成果の公表状況について伺います。  
Q1. 査読付き論文（和文）の数をお答えください。アクセプトされた論文も含みます。

2020 年度                      2021 年度

総論文数

うち筆頭者論文数

Q2. 査読付き論文（英文）の数をお答えください。アクセプトされた論文も含みます。

2020 年度                      2021 年度

総論文数

うち筆頭者論文数

Q3. 筆頭演者としての、国内学会での発表数をお答えください。  
シンポジウムや基調講演等での発表も含みます。2022年3月末までの発表予定も含みます。

2020 年度                      2021 年度

発表数（筆頭演者）

Q4. 筆頭演者としての、国際学会での発表数をお答えください。  
シンポジウムや基調講演等での発表も含みます。2022年3月末までの発表予定も含みます。

2020 年度                      2021 年度

発表数（筆頭演者）

JANSの各委員会が実施している取り組みについてお伺いします。

問4 Q1. 以下に示すものはJANSの各委員会が実施している取り組みの中で、会員の研究活動への支援となりうると考

えられるものです。  
各取り組みについて、どの程度関心があるかお答えください。

1. 若手の会メーリングリスト

2. 若手研究者助成（国際学会への出席のための助成）

3. 若手研究者助成（海外留学のための助成）

4. 和文誌迅速査読制度

5. 英文誌迅速査読制度

6. オンラインJANSセミナー

選択

- 0. 知らない
  - 1. 全く関心がない
  - 2. あまり関心がない
  - 3. どちらとも言えない
  - 4. やや関心がある
  - 5. とても関心がある
- 0. 知らない
  - 1. 全く関心がない
  - 2. あまり関心がない
  - 3. どちらとも言えない
  - 4. やや関心がある
  - 5. とても関心がある
- 0. 知らない
  - 1. 全く関心がない
  - 2. あまり関心がない
  - 3. どちらとも言えない
  - 4. やや関心がある
  - 5. とても関心がある
- 0. 知らない
  - 1. 全く関心がない
  - 2. あまり関心がない
  - 3. どちらとも言えない
  - 4. やや関心がある
  - 5. とても関心がある
- 0. 知らない
  - 1. 全く関心がない
  - 2. あまり関心がない
  - 3. どちらとも言えない
  - 4. やや関心がある
  - 5. とても関心がある
- 0. 知らない
  - 1. 全く関心がない
  - 2. あまり関心がない
  - 3. どちらとも言えない
  - 4. やや関心がある
  - 5. とても関心がある

7. 学術集会における若手優秀演題口頭発表賞制度

- 5. とても関心がある
- 0. 知らない
- 1. 全く関心がない
- 2. あまり関心がない
- 3. どちらとも言えない
- 4. やや関心がある
- 5. とても関心がある

8. 診療ガイドライン作成支援

- 0. 知らない
- 1. 全く関心がない
- 2. あまり関心がない
- 3. どちらとも言えない
- 4. やや関心がある
- 5. とても関心がある

9. システマティックレビューチーム支援

- 0. 知らない
- 1. 全く関心がない
- 2. あまり関心がない
- 3. どちらとも言えない
- 4. やや関心がある
- 5. とても関心がある

10. 大型研究費獲得支援制度

- 0. 知らない
- 1. 全く関心がない
- 2. あまり関心がない
- 3. どちらとも言えない
- 4. やや関心がある
- 5. とても関心がある

11. 取得済み調査データの分析・論文執筆を行う学会主導型研究プロジェクト

- 0. 知らない
- 1. 全く関心がない
- 2. あまり関心がない
- 3. どちらとも言えない
- 4. やや関心がある
- 5. とても関心がある

問5 看護系大学の常勤職の人が、仕事に費やしている時間の配分状況について伺います。

Q1. あなたは現在、看護系大学に常勤職として勤務していますか。

- 1. はい
- 2. いいえ

※「2. いいえ」とお答えした人は、問6にお進みください。

Q2. 直近の3ヶ月（2021年12月～2022年2月）で、あなたは仕事に費やしている時間を、どのように研究・教育・管理運営・社会貢献活動などに配分していましたか。

仕事に費やしている全体の時間を100%として、以下に示す活動ごとに、割合（%）をお答えください。

なお、本調査フォームでは入力値の合計が100%になっていない場合のエラーチェック機能がないため、ご自身で合計が100%となっていることをご確認ください。

1. 研究活動（文献検索・調査／実験・論文執筆・研究指導など）
2. 教育活動（講義・実習・演習）
3. 管理運営活動（大学における会議・委員会、オープンキャンパスなど）
4. 社会貢献活動（学会の委員会活動、市民講座など）
5. 実践（臨床）における活動
6. その他

>Q2-1. 「6. その他」を選択の場合は、具体的にご記入下さい

Q3. あなたは、若手教員の指導的な立場（教授や分野長など）にありますか。あなた自身のご判断でお答えください。

1. はい
2. いいえ

>Q3-1. 「1. はい」とお答えした人にお尋ねします。前回（第一回）の調査において、若手教員（助教・助手）では研究活動が阻害されにくいことが分かりました。コロナ禍において、若手研究者の研究機会の確保のために工夫していることがありましたら、自由にお書きください。

コロナ禍における、科研費とその他の研究費による研究遂行状況について伺います。

問6 Q1. あなたは今年度（令和3年度）、研究代表者として科研費（文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金）を獲得していますか（継続分を含みます）。

1. はい
2. いいえ

Q2. あなたは今年度（令和3年度）、研究代表者としてその他の研究費（厚生労働科学研究費補助金、日本医療研究開発機構 [AMED] の補助金、民間助成金、所属機関内の競争的研究費など）を獲得していますか（継続分を含みます）。

ただし、所属機関から配分される基盤経費（競争的研究費でないもの）は含みません。

1. はい
2. いいえ

問7 あなた自身についておたずねします。

Q1. あなたの会員区分をお答えください（ご登録頂いている請求送付先の住所となります）。

1. 北海道
2. 東北（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）
3. 関東A（茨城、栃木、群馬、埼玉）
4. 関東B（千葉、神奈川）
5. 東京A（千代田区、中央区、港区、台東区、文京区、北区、荒川区、足立区、葛飾区、墨田区、江戸川区、江東区、品川区、大田区、島しょ、海外）
6. 東京B（渋谷区、目黒区、世田谷区、新宿区、中野区、杉並区、豊島区、板橋区、練馬区、多摩地域）
7. 甲信越（新潟、長野、山梨）
8. 北陸（富山、石川、福井）
9. 東海（静岡、愛知、岐阜、三重）
10. 近畿A（大阪、兵庫）
11. 近畿B（滋賀、京都、奈良、和歌山）
12. 中国・四国（鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知）
13. 九州・沖縄（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）

Q2. あなたの性別をお答えください。

1. 男性
2. 女性
3. その他
4. 答えたくない

Q3. あなたの年齢をお答えください。

1. 24歳以下
2. 25～34歳

3. 35～44歳
4. 45～54歳
5. 55～64歳
6. 65歳以上

Q4. あなたの主たる勤務先の組織をお答えください。

1. 看護系大学（国立）
  2. 看護系大学（公立）
  3. 看護系大学（私立）
  4. 看護系大学以外の大学
  5. 研究所
  6. 医療・保健・福祉機関（病院、診療所、訪問看護ステーション、等）
  7. その他
  8. 現在勤務していない／どこにも所属していない
- >Q4-1. 「7. その他」を選択の場合は、具体的にご記入下さい

Q5. あなたの主たる勤務先での現在の立場にもっとも近いものをお答えください。

1. 教授
  2. 准教授
  3. 講師
  4. 助教
  5. 助手
  6. 看護管理者（看護部長、師長・副師長等）
  7. 臨床で勤務する看護職（保健師、助産師、看護師とします）
  8. その他
- >Q5-1. 「8. その他」を選択の場合は、具体的にご記入下さい

Q6. あなたの現在の雇用形態をお答えください。

1. 常勤
  2. 非常勤
  3. その他
- >Q6-1. 「3. その他」を選択の場合は、具体的にご記入下さい

Q7. あなたは現在、大学院生ですか。

1. 大学院生ではない
  2. 看護系大学院生（博士課程）
  3. 看護系大学院生（修士課程）
  4. 看護系以外の大学院生（博士課程）
  5. 看護系以外の大学院生（修士課程）
  6. その他
- >Q7-1. 「6. その他」を選択の場合は、具体的にご記入下さい

Q8. あなたの最終の（既を取得した）学位をお答えください。

1. 博士
  2. 修士
  3. 学士
  4. 準学士
  5. 短期大学士
  6. 専門士
  7. その他
- >Q8-1. 「7. その他」を選択の場合は、具体的にご記入下さい

>Q8-2. 「1. 博士」とお答えした人にお尋ねします。あなたは博士の学位取得後8年未満の研究者ですか。

1. はい
2. いいえ

Q9. あなたは現在、同居するパートナー・配偶者がいますか。

1. はい
2. いいえ
3. 答えたくない

Q10. あなたは現在、お子さんの育児・養育をしていますか。

1. はい
2. いいえ

Q11. あなたは現在、介護をしていますか。

1. はい
2. いいえ

Q12. あなたのここところの健康状態についてお尋ねします。過去30日間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか。

- |                                   | 選択   |
|-----------------------------------|--|
| 1. 神経過敏に感じましたか                    | 0. 全くない<br>1. 少しだけ<br>2. ときどき<br>3. たいてい<br>4. いつも |
| 2. 絶望的だと感じましたか                    | 0. 全くない<br>1. 少しだけ<br>2. ときどき<br>3. たいてい<br>4. いつも |
| 3. そわそわ、落ち着きがなく感じましたか             | 0. 全くない<br>1. 少しだけ<br>2. ときどき<br>3. たいてい<br>4. いつも |
| 4. 気分が沈んで、何が起ころっても気が晴れないように感じましたか | 0. 全くない<br>1. 少しだけ<br>2. ときどき<br>3. たいてい<br>4. いつも |
| 5. 何をするのも骨折りだと感じましたか              | 0. 全くない<br>1. 少しだけ<br>2. ときどき<br>3. たいてい<br>4. いつも |



6. 自分は価値がない人間だと感じましたか

0. 全くない

1. 少しだけ

2. ときどき

3. たいてい

4. いつも

Q13. あなたの人生に対する感じ方についてうかがいます。次の(A)～(C)のそれぞれについて、あなたの感じ方を最もよくあらわしている数字1つを、選択してください。

(A) 私は、日常生じる困難や問題の解決策をみつけることができると思う

選択

1. よくあてはまる

2.

3.

4.

5.

6.

7. まったくあてはまら

ない

(B) 私は、人生で生じる困難や問題のいくつかは、向き合い、取り組む価値があると思う

1. よくあてはまる

2.

3.

4.

5.

6.

7. まったくあてはまら

ない

(C) 私は、日常生じる困難や問題を理解したり予測したりできると思う

1. よくあてはまる

2.

3.

4.

5.

6.

7. まったくあてはまら

ない

以上で終わりです。  
ご協力ありがとうございました。

こちらのボタンを押すと、【回答の一時保存および送信】ができます。

後から回答を再開・編集することもできます。

最後に、回答漏れがないかについてもご確認をお願いします。

回答内容を確認して下さい。よろしければ、下記のボタンを押して回答内容を送信下さい。

